

(1) 論文タイトル, 著者名, 所属機関名

論文タイトル: ニボルマブ投与継続が可能であった尿細管間質性腎炎を発症した  
膜性腎症合併肺癌の1例

著者名: 佐々木真知子<sup>a</sup>, 水柿秀紀<sup>a</sup>, 榊原純<sup>a</sup>, 近藤桂一<sup>b</sup>, 深澤雄一郎<sup>c</sup>, 今野哲<sup>a</sup>

所属機関名: <sup>a</sup>北海道大学病院内科Ⅰ, <sup>b</sup>北海道大学病院内科Ⅱ, <sup>c</sup>市立札幌病院病理診断科

(2) 要旨：

症例は 65 歳女性。半年前より尿蛋白を指摘されネフローゼ症候群の精査目的に当院腎臓内科へ受診した。左肺下葉に腫瘤影を指摘され当科紹介され、肺扁平上皮癌 cStage IVと診断した。ネフローゼ症候群の原因は肺癌に伴う膜性腎症と診断された。1 次治療後に原発巣の増悪があり、2 次治療としてニボルマブを開始し、1 コースの 5 日目に Grade2 のクレアチニン増加を認めた。腎生検を施行され、病理組織診断は膜性腎症及び尿細管間質性腎炎であった。その後、1.5～4 ヶ月毎にニボルマブを投与し部分奏効を維持している。

(3) キーワード, 短縮タイトル :

肺癌, ニボルマブ, 尿細管間質性腎炎, 膜性腎症, 免疫関連有害事象,  
Lung cancer , Nivolumab , Tubulointerstitial nephritis ,  
Membranous nephropathy, Immune related adverse events  
ニボルマブによる尿細管間質性腎炎